

平成27年度 正親小学校学校経営の基本構想図

京都市学校教育の目標

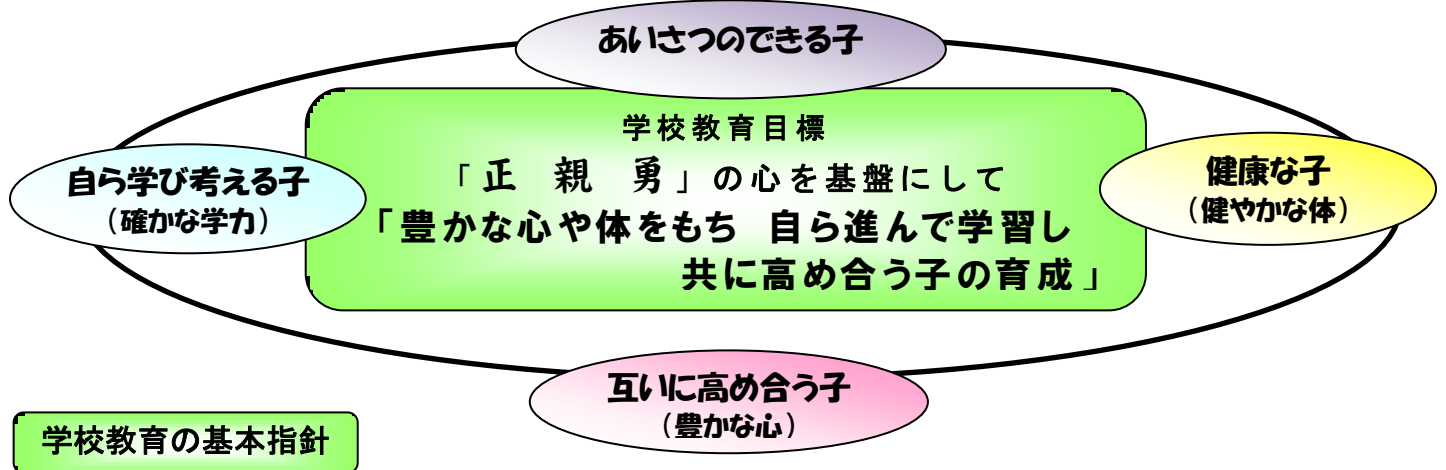
- 伝統と文化を受け継ぎ、次代と自らの未来を切り拓く子ども
- 教師としての責任を自覚し、確かなビジョンと力量をもつ教職員
- 市民ぐるみ、地域ぐるみの教育の核となる学校

学校経営方針

- ◇一人一人の子どもの良さを
見だし、すくすくと伸びる学校
- ◇一人一人の教職員が
専門性を発揮する学校
- ◇家庭・地域と
活気ある活動を進める学校

児童・保護者地域の実態

- 優しく素直で、明るい
・問題解決能力・活用力を伸ばしたい。
- ・自分も他の人も大切にすることを育てたい。
- 学校に協力的
・保護者の参画・支援をさらに高めていきたい。



学校教育の基本指針

- ① 相手のことを大切に考える、人とのつながりをもとうとする、礼儀正しいあいさつのできる子を育成する。
- ② 一人一人の課題を明確にし、課題に応じた指導を徹底して行う。
- ③ 学校生活における規範意識の徹底を図る。
- ④ 保護者・地域と連携し「京都はぐくみ憲章」の具現化をめざす。

学校づくりの柱（具体的な取組）

生きる力

確かな学力

- ◇基礎基本の確実な定着
 - ・言語活動の充実とノート指導の徹底
⇒思考力、表現力の向上
- ◇学習規律の確立
 - ・個が輝く豊かな集団づくり
- ◇指導力の向上
 - ・わかる授業の実践
←板書の工夫、個別の支援

豊かな心

- ◇人権教育、道徳教育の推進・充実
 - ・一人一人を大切にする学級経営
 - ・人権学習の系統的な実施
- ◇心の教育の充実
 - ・たてわりグループ活動を中心とした協働活動の推進

健やかな体

- ◇健康・安全教育の推進
 - ・基本的な生活習慣の確立
(挨拶、早ね、早起き、朝ごはん)
 - ・体育、保健学習・食育の充実
 - ・地域ぐるみの学校安全の展開
 - ・スポーツ活動の充実
(校内部活動、地域スポーツ活動)

☆地域ぐるみの教育の推進（家庭・地域との連携）

正親小学校学校運営協議会

学校評価委員会

学力向上委員会

～保幼小中連携教育推進～
～放課後まなび教室～

ふれあい文化委員会

～子ども土曜塾～

生活リズム・体力向上委員会

～長期宿泊・部活動～

地域安全委員会～正親安全見守りたい～

【学校教育目標】

「正 親 勇」の心を基盤にして

豊かな心や体をもち 進んで学習し 共に高め合う子

【めざす子ども像】

○ あいさつのできる子

- 自ら学び考える子 〈 確かな学力 〉
- ・ 基礎・基本の「学力」を身につけ進んで学習に取り組む子

・ 基礎学力の定着と向上
・ 個性と創造力の育成

- 互いに高め合う子 〈 豊かな心 〉
- ・ おもいやりのある親切な子
 - ・ 人権を大切にする子

・ 人間愛・自然愛に基づく
豊かな心情の育成

- 健康な子 〈 健やかな体 〉
- ・ 生活リズムを大切にして安全に行動できる子

・ 体力の増進と意思の強化

〔重点の取組〕

- ・ すすんであいさつができる子を育成する
- ・ 一人一人の課題を明確にし、課題に応じた指導を徹底して行う
- ・ 学校生活における規範意識の徹底を図る
- ・ 保護者・地域と連携し「子どもを共に育む京都市民憲章」の具現化をめざす

★あいさつができる子の徹底

- ・ 人と人とのふれあいを持つためのあいさつができるようにする。
「おはよう」「ありがとう」「さようなら」「ごめんなさい」
- ・ 声かけ運動の実施

(1) 学習指導の充実(学力保障・向上) ⇒ 指導力の向上

【子ども一人一人の学力を最大限に伸ばす指導の充実】

自己肯定感を高め、自ら学び、自ら考える授業の創造

①基礎・基本の確実な定着

○読み・書き・計算・話す・聞く・情報収集能力の向上を目指す。

- ・漢字テスト・計算テスト等に毎日継続的に取り組む
- ・1年生から6年生まで連動性を持たせた学力向上の取組を進める
- ・普通授業・チャレンジタイム・家庭学習・(放課後学び教室)との連動性を持たせた取組を進める

○利用しやすい図書館を核にした言語活動の充実

- ・おはよう読書の実施による読書量の充実、語彙の獲得
- ・読み聞かせの会、らんらんお話の会の活動を通して、本に親しむ子を育てる。
- *日常的(一日一度は)に音読指導の徹底を図り、学習基盤の確立を目指す。

全校音読発表会を実施する

○「全国学力・学習状況調査」「ジョイントプログラム等」の調査の結果を検証し、学力向上に向けた取組を推進する。

- ・多様な評価を通して児童個々の学習到達状況のきめ細かな把握 適度の刺激

○自学自習の能力向上(児童に応じた課題の設定)・家庭との連携

- ・宿題(毎日)などを通して家庭学習の習慣化をはかる。週予定の配布、活用。
- ・学校・家庭(「家庭学習の手引き」の活用など)学校教育の理解を深めて家庭学習の定着を図る。(放課後学び教室の活用)

②学習規律の確立(個が輝く豊かな集団づくりの確立)

○児童一人一人の自己肯定感を高め、互いに認め合い、支えあう学級集団作りを目指す。あらゆる場でのグループ学習の設定・活用。

*コミュニケーション豊かな学級経営の構築は、学習規律の確立の取組から

○児童個々の実態把握の徹底とともに共感的な児童理解により、児童との信頼関係の構築(自尊感情を高める)を図る。

- ・日々の授業を中核にして
- ・発言や意見・考え・行動(日記や作文や日常の観察)を通じて
- ・学校評価を活かした取組 等

③授業改善の推進

○児童一人一人を大切にするための指導体制づくり

- ・少人数、TT、総合育成支援員、教務主任を有効に生かす授業体制など

○児童を核にした情報交換ができる「教職員集団」の確立。

(2) 人権教育の推進・充実 ⇒ 道徳教育推進教師を中心とする指導力の向上
【道徳的実践力を身につけ、人権尊重を規範とした行動力の向上】

①一人一人を徹底的に大切にする学級経営（一人一人の課題把握と支援）



○学習規律のステップアップの取組を通して具現化を図る

- ・一人一人が集団の中で活躍できる学級づくり
- ・児童・保護者との信頼関係の構築（保護者との連携）家庭訪問の重視
- ・人権を常に意識した学級経営
 - ア. 人権としての教育・・・就学条件の整備・学力保障など
 - イ. 人権を通しての教育・・・いじめ・仲間はずれをなくす指導など
 - ウ. 人権についての教育・・・同和問題指導・健康教育など
 - エ. 人権のための教育・・・「人権という普遍的文化」をになう子の育成
- ・同和問題をはじめ、あらゆる差別を許さない鋭い人権感覚を身に付け、人権尊重の精神を日常生活の中で生かせるようにする。

②道徳教育の推進・充実

- ・道徳教育推進教師を核にし、全体計画に基づく、学校教育のあらゆる教科・領域で道徳教育を推進する。

③健康・安全教育の推進 ⇒ 「命の学習」

④児童会活動を通しての人権教育の充実 ⇒ 「人権なかよし集会」での取組。

(3) 健康・安全教育の推進

○「早寝 早起き 朝ごはんの取組」⇒ 基本的な生活習慣の確立

○「地域ぐるみの学校安全」の取組 ⇒ 自ら危険に気づき、安全に行動する実践力の向上

＊安全指導・教育の充実 ・登下校安全指導の取組

①児童の自己肯定感を高め、健康自立を目指す。 自分の身体を大切にする子の育成

②睡眠・食生活などの生活点検表の活用ならびに本人・家庭への働きかけ

③児童の体力の向上を図る。(教科体育・体育的行事・体力づくり)

④健康教育を中心とした自他の生命を大切にする教育の推進

⑤学校安全的行事や学級活動、PTA・地域及び関係機関と連携した取組を通して安全教育の推進を図り、安全及び防犯の意識と実践力の向上を図る。

⑥給食指導を通して、「食」におけるより良き生活習慣を身に付けさせる。

(4) 心の教育の充実

○たてわりグループ活動を中心とする人と人とのつながりを大切にし、お互いの立場を理解し、相手を思いやることができる子の育成を目指す。

- ・たてわりグループ遠足
- ・たてわりグループでの活動（運動会や集会活動にも取り入れる）

①読書の習慣を身に付けさせる。（読書タイムなど）

②正親タイムにおける感動体験発表

- ・子ども自らの言葉で発表できるように取り組む。
- 体験活動の中で道徳的な価値を広げ深める指導の創意・工夫

③「心のノート」の活用による道徳教育

④栽培活動を通しておもいやりの心を育むとともに、継続して取り組むことの大切さを味わわせる。

(5) 総合的な学習「ゆうゆうタイム」の充実

①「命の学習」の位置付けを明確にし、年間計画に従い指導の徹底を図る。

②豊かな体験活動の創意・工夫(自然体験・福祉体験・ボランティア体験など)

③児童の興味や関心をもとに、児童の主体的な学習活動を展開する。

④地域に愛着と誇りを持ち、地域の一員としての自覚を高め、地域の発展につくそうとする態度を育てる。

⑤地域や健康教育を素材にした総合的な学習の創意・工夫

⑥地域の人材活用により、児童と地域の人々との積極的な交流をはかる。

(6) 情報教育の充実（大型テレビ・校内ランシステムの活用）

①すべての児童がコンピュータの基本的な操作に慣れ、親しむ

- ・1年生から6年生までの指導内容の明確化と習熟度の向上

②大型テレビやコンピュータを活用しての学習活動の創意・工夫

- ・一人一人の個性を生かし豊かな表現力を育む

③教職員のコンピュータ操作技術の向上

- ・研修の充実（指導力の向上）・教科指導に生かす工夫（教材研究の深化）

(7) キャリア教育・環境教育・福祉教育(ボランティア活動)外国語活動の充実・推進

①総合的な学習や勤労生産、環境美化の取組を通して推進する。

- ・小規模校の良さを生かしたたて割り活動の実施
- ・地域と一体となった「たてわり町清掃」の取組
- ・生活科・家庭科・総合的な学習などの学習を通して自然や物を大切にする心を育み日常生活に生かす。
- ・デイケアセンター交流訪問、保育園との交流会などの体験を通して、命の大切さや相手への思いやりの心など人権意識を深め身近な地域福祉に対して関心を高める。

②外国語活動の充実(ALT との積極的な連携の推進)

【学校経営方針】

児童・保護者・地域から信頼にされる学校をめざす

○困難に立ち向かう活力と協働体制を強化した学校作り

○学習指導・生徒指導の力量を高める教職員集団作り

○開かれた学校づくり・・・家庭・地域の役割の明確化と連携の強化

できるだけ家庭訪問を行う 学校評価の有効活用

○子ども達にとって伸び伸びと過ごせる学校づくり

○わからないことが自然に分からないと言え、試行錯誤ができる学校づくり

学年教育目標・学級経営目標・自己研修計画

具 体 的 教 育 実 践

【教育目標の実現に向けた取組】

- ①将来展望を持ち、その実現に向かい最後まであきらめず、何事にも一生懸命取り組める学力を持った子どもの育成
- ②違いを認め合い、励まし高めあえる子どもの育成
- ③基本的な生活習慣の確立した子どもの育成

【当面の課題】

①児童の学力向上に向けた取組

「教科担任制、交換授業、合同授業」の実施

②総合育成支援教育の充実

支援体制の確立、改善

③小中一貫教育の推進

合同研修会の実施、児童・生徒の交流（宿泊学習等学校行事での交流・本の読み聞かせの会などでの交流）

④人権教育の充実

